

2020年



# CIR活動ページ

No. 124



**Hi everyone!** アメリカの国際交流員のエマ・ウッドです。今年の冬はそんなに寒くありませんよね。私は仕事に暑くなってしまいますので、この季節でも半袖のシャツを着ることが多いです。カリフォルニア出身の私にとって、このような冬でも温暖な気候というのは普通のことなのですが、鹿児島に住んでいる方の中には、今年の冬の暖かさに驚いている方も多いのではないでしょうか。しかし、これだけ暖かい日が続くと、桜が通常より早く咲く可能性がありますよね。私は一度も花見をしたことがないので、今年の桜の開花をとっても楽しみにしています。満開の桜の下に座って、弁当を食べたりお酒を飲んだりする花見はきっと最高のでしょう！

## 職員向けの異文化理解講座

2月3日に私と中国出身の王欣さん、韓国出身の張ハナさんの国際交流員3名が、市役所の職員を対象とした異文化理解講座を行いました。コミュニケーション、職場文化、食事文化、飲み会文化という4つのキーワードに沿って、私たちの国と日本との違いについて紹介しました。それぞれの国の文化や習慣に対する理解を深め、様々な場面での外国の方とのコミュニケーションの円滑化や、接遇マナー等の知識を習得するお手伝いできたのではないかと思います。



## 初午祭

2月16日、3名の国際交流員が初午祭に参加しました。私は霧島市国際交流協会の法被を着て、鹿児島おはら節を踊りました。私はおはら節を踊るのが初めてだったのでなかなか難しかったのですが、私達の前にいた民芸保存会の皆さんの踊りが綺麗に揃っていてすごいと思いました。踊り連の先頭には、背中に色とりどりの飾りを付け、首に鈴をつけた馬がいました。私より踊るのが上手でした！当日は生憎の雨模様でしたが、参加者も来場者もそれを感じさせないほど活気にあふれていました。来年も馬と踊るのを楽しみにしています！

## 新春国際親善ナンコ大会

2月7日、霧島市国際交流協会が主催の新春国際交流親善ナンコ大会が開催されました。68名という多くの参加者のうち、外国人は32名でした。私と中国の王欣さんで、主催者の挨拶やゲームのルールなど通訳しました。ゲームの前には、国際色豊かな参加者達が一緒に夕食をとり色々な話をしていた、会場はとても良い雰囲気でした。「ナンコ」は鹿児島県と宮崎県で生まれたゲームで、この大会は国内外の方に鹿児島の文化をPRする意味合いもあります。食事の後には、10チームに分けられた参加者が総当りでナンコを行い、チームの1位になった人がさらにトーナメント方式で勝ち抜く方法で競技が行われました。負けた人はお酒を飲まないといけなかったので、たくさん負けて酔ってしまった人は、ゲームが進むにつれてますます勝つのが難しくなります。最終的な結果として、1位は市内で働くベトナム人の男性で、2位が霧島市のALTのサラさん、3位は市内勤務の中国人の女性でした。最後までとても盛り上がり本当に面白かったです。このゲームは、6つの棒があれば、どんな人でも、どんな年齢でも、どんな国でも出来るので、私がアメリカに帰った時には皆に教えたいと思います。



最近ではコロナウイルスの影響が様々な面であり、少し大変ですね。自分と周囲の人のためにも、手をよく洗い咳エチケットを守って元気に過ごしましょう！